

令和6年4月26日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時30分

2 閉会時間 10時17分

3 教育長名 和田 智司

4 署名委員 杉本 かおり

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	和田 智司
○	教育委員 教育長職務代理者	藤原 直彦
○	教育委員	杉本 かおり
○	教育委員	古正 栄司
○	教育委員	岡野 敏彦

6 出席者氏名

教育部長	椎野 文彦
教育総務課長	田嶋 卓司
教育指導課長	倉重 成歩
教育指導課課長代理	高谷 松慶
生涯学習課長	山下 昌志
教育指導課指導班長	安藤 通晃
教育総務課教育総務班長	高橋 梓
教育総務課教育総務班主事	川名 義紀

7 傍聴者 3名

8 調製者 教育総務課教育総務班主事 川名 義紀

1 開会宣言

(教育長) 令和6年度4月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

杉本委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 4月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(指導班長) 今年度の学校現場での様々な出来事を1つでも多く、教育委員の皆さんに紹介をさせてもらえたらと思います。今日紹介させていただくのは、二宮西中学校で4月16日に新1年生が話し合いの授業を行った取り組みについてです。まだ学校が始まり7日間しか経過していないにもかかわらず、子ども達だけの話し合いの授業が成立しているということに私自身もすごく驚きましたし、二宮西中学校長も、嬉しそうに報告してくださいました。こうした授業が、学校が始まり7日なのにとできるという理由としては、学校研究を通じて、9年間で学び方をそろえていることの影響が非常に大きいと改めて感じました。この授業をしてくださった先生もきっと手応えを感じたと思うし、小学校の先生方も中学校の子ども達がこうして、自分達で主体的に話し合いの授業をしていることを知ったら、きっと今取り組んでいることをさらに自信を持ち取り組んでいく気持ちになるだろうし、非常に励みになると思います。私たちができることは、こうした取り組みがされていることを、小中学校の皆さんに広く伝えていくことだと思いますので、非常に良い取り組みだと思い今回ご紹介させていただきました。これは学校で使う教材で心情円盤と言い、0か100ではなくて、微妙な気持ちを表現するのに、非常に使いやすいツールですけど、例えば青が教師の主体性で、ピンクが子どもの主体性だとすると、私たちが目指すところは、3月には子どもが主体的に全てのことを行えるようピンクの部分が大半を占めるような学級を作ることが理想です。4月は、様々なシステムを落とし込んでいくために、教師の主体性・主導性が非常に高く、子どもの主体性はどうしても下がる時期ではあります。けどこうして、学び方の土台をそろえることにより必要以上に教師の主体性を上げすぎなくていいし、逆に4月でも子どもの主体性がある程度高い状態で授業を進めていくことができることは非常に大きなメリットだと思います。帰りの会とか朝の会とか掃除とか給食とか係活動とか、本当に4月は様々なシステムを子ども達に落とし込んでいくけど、授業の進め方については、これまで通りでいいことは、子どもの主体性という観点から非常に大きいだろうと思うし、私たちが目指すところへの近

道にきつとなると思いました。3月に子どもの主体性が高い状態を作るためには、この学び方の土台をそろえるということは、非常に効果が大いと思えました。

(藤原委員) 二宮西中学校の事例が素晴らしい。最終的に3月には子どもが主体でできると良いという話については確かにそうだと思う。でもその理想がちゃんとみんなと共有できているかの確認は結構疎かにしがちだと思う。子ども達に、どこかのタイミングで確認できるという。理想の状態も、いろんな形があると思うので、そういうことを1回みんなで話し合った上で目指していくと、方向性が一緒になり取り組みもちょっとずつ変わるし、先生主体からできる限り早めに子ども達主体にできると思う。そんな話し合いをきつともうできる場があると思う。

(指導班長) 今回話し合ったテーマの「勉強する意味」は、まさにそういうことも視野に置いて話し合えるものなので、そういった意味でも良い話し合いがされたと思います。

(藤原委員) あと席の配置について、教師と生徒という構図にならないようにすごく意識されていて、異なる学校から進学してきた生徒たちがどうやったらコミュニケーションしやすいのか工夫を感じたので素晴らしいと思います。

(岡野委員) 私もこの二宮西中学校の事例はとっても良いと思えました。これいくつか視点があると思います。まず1つは、情報発信です。学校の中のことを、ホームページを通じて学校の外に見えるようになることが、大きなポイントの1つになると感じました。2つ目が、やっぱりこのお題が良かったと感じました。これは多分、一生つきまとうお題と思う。学校の中では学校教育という言葉があり、その先に生涯学習みたいな言葉に徐々に変わり、常に知りたいとか、自分のレベルアップをしたいところへ繋がると思うのでこのお題がやっぱり絶妙に良かったと感じました。3つ目がこの時期に言葉を交わしてやるのが、学級づくりに良かったと感じました。過去に運動会を6月にやるのがいいのか10月にやるのがいいのかみたいな議論に多く参加させてもらったことがあるが、それぞれメリット・デメリットがあり、6月にやるのはチームワークや学級づくりに効くという意見が結構多かった。中には練習時間が課題という人もいるけど、全然そんなの関係なく、多分子ども達は余裕で突破して、楽しんで、盛り上げることができるでしょうから、早い時期にみんなでひとつのものを作り上げていく活動やることに意味があると感じました。最後の写真のマインドマップについて自分が発言したのはどういう位置付けになるのかがちゃんと見えるのも、良い共有の仕方と感じました。いろんな視点でコメントでき、考えていける題材だったと思えました。

(教育指導課長) 私も去年1年間いろいろ学校で研究事業を見させていただきました。道徳の授業等でマインドマップを小・中学校で活用しているのを見て、小学生が中学校でも同じやり方でいいことで安心すると感じました。二宮西中学校だと、一色小学校と山西小学校の子が進学するので始めは緊張感があるでしょうけど、やり方が

一緒だと、仲間づくりがしやすくなったりとか、意見が言いやすくなったりとか、本当の安心に繋がると感じました。

4 付議事項

(1) 議案第1号 二宮町学校運営協議会委員について

(教育指導課長) 二宮町学校運営協議会委員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第1号について諮る。

委員全員賛成により、議案第1号は承認される。

(2) 議案第2号 二宮町スポーツ推進委員の委嘱について

(生涯学習課長) 二宮町スポーツ推進委員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第2号について諮る。

委員全員賛成により、議案第2号は承認される。

(3) 議案第3号 二宮町青少年指導員の委嘱について

(生涯学習課長) 二宮町青少年指導員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第3号について諮る。

委員全員賛成により、議案第3号は承認される。

5 報告・協議事項

一 次回教育委員会予定 一

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

(古正委員) この4月から横浜市では、学校からの連絡システムを市立の学校すべてで統一したというニュースに触れました。小中学校だけではなく市立の全ての学校でということでもすごいことだと思った。転校したとか、市立の学校の教職員が異動したときに、その連絡の仕方について、戸惑うことが多いと思います。例えばお知らせが全て紙の学校と電子データの学校、欠席連絡が電話の学校と先ほどのシステムの学校、それらが全ての学校で揃うということは、子ども、保護者、教職員にも、とても安心に繋がるやり方だと思います。さてにのみや学園がスタートして1年経ちました。二宮町では、連絡システムとしては、マチコミメールのシステムを使用していますが、学校への欠席の連絡の仕方、あるいは学校やPTAからのアンケートなどについてもどこの学校でもみんな同じようにしているかを教えていただきたい。それから、その横浜市のシステムでは13の言語に自動翻訳

される機能がついているそうです。二宮町でも、少しずつ増えてきましたけれども、様々な言語を母語としている保護者の方がいらっしゃいます。学校からのプリントなどをどこまできちんと理解をされているのか。中国籍のお子さんの担任をした時に聞いた話によると、プリントが学校から配られると、小学校 1 年生の子がプリントを読んで、自分なりの言葉で、保護者に通訳をして伝えていました。ところが子どもにはわからない専門用語がたくさんあるので、そこはうまく親に伝えられないと言われたことを思い出しました。そういった経験からするとシステムの自動翻訳機能はすごいと思いました。二宮町でも、今後、そういった保護者、子ども達が増えていくことが予想されますので、いろいろな自治体で活用されているシステムを上手く取り入れていただいて、子ども達だけではなく、保護者や、あるいはそれを見る地域の方々にも、やさしい安心できる仕組みが整うところだと思います。

(教育総務班長) 今ご質問いただいた、マチコミメールの運用の仕方について、簡単にご紹介いたします。マチコミメールは 5 校共通で使っているもので、現状の運用としては、授業変更や台風等で学校はお休みしますといったような緊急的なお知らせに使っています。明文化されたルールは無いが、5 校共通認識で緊急時に使うということで同意のもとで使っているような状況です。そのため、学校から保護者に一方的に発信するものとなります。ただ先ほど言った保護者から今度学校にふるものとしては、アンケートや欠席の連絡になると思いますが、これまでは欠席の連絡は電話やアンケートは紙ベースを基本としているということはありませんが、ここ数年、学校で ICT の整備が進んでいて、欠席に関しては Google フォームを使い、スマホ等で連絡ができるようになったので、ある程度負担が軽減されていると聞いています。またアンケートに関しても、同じように Google フォームを活用して、スマホ等から簡単に回答できますし、逆に学校も受け取った後の集計が楽になったと聞いています。また今後の予定という形になりますけれども、町の方で公式 LINE の取得を目指しており、プッシュ通知の機能だけではなく、欠席連絡とかの機能サービスがついていると伺っていますので、うまく活用できたらと思います。先ほど言ったように発信するだけじゃなくて、受け取る方側としても、そういったシステムを活用していきたいと考えています。2 目です。外国籍の対応になります。現状ですと日本語が話せないお子さんに対しては、日本語指導員を配置しており、そういった方たちが保護者や子どもに説明するようにしています。ただし、常駐していないので、緊急時には簡単な日本語で個別に対応したりしていることもあります。ただ先ほど言ったように、ICT を活用ができることで、翻訳機能を使えるので、それを活用しながら、日頃の会話等をしていると聞いています。ただし、ICT などが使えない方もいらっしゃると思うので、複数の方法で対応していくことで、手の届かないところもカバーできていくと思いますので今後もそういった対応をしていきたいと思っています。

(藤原委員) なかなか良い問題提起だと思います。統一するには楽だと思いますが、各学校自身であんまり考えなくてよくなる恐れがあります。いろいろな学校で違う使い方をしている中で、いいことを取り入れられるメリットはある気がする。にのみや学園には事

務局はないので、教育委員会で全部采配することも運用的に難しい。やっぱりこのみや学園の体制がちゃんとできたときには絶対大丈夫だと思う。けれども、いい事例を見つ、今の段階からでも、それぞれの人が集まり意見交換しながら、だんだん良くしていくことはいいと思います。

(岡野委員) 今ご紹介いただいたことで、私が感じたのが、そもそも世の中で、どういうものがあり、どういう使い方があり、どんなメリットがあり、それにはどんな問題があるかを、ウォッチングしていくことが必要なのかと感じた。今回は、たまたまそういう情報を見たから、考えるきっかけになったわけなのかもしれないけど、もうちょっとこれから ICT の頻度や重要度が上がると、どんな道具が出てくるのか、どういう使い方ができるのかを、先取りしていくことが私は必要と思います。今日ご紹介いただいた通信手段もそうですけど、これから例えばデジタル教科書も、話が及んでいくと思う。去年の秋にご紹介したエディックスという、教育界の展示会が5月の8、9、10日にビックサイトであるのですが、今みたいな通信とか、デジタル教科書とか、子ども達のパソコン操作ログを取るとか、キーワードを持ちその展示会を歩いたときに何か得るものがあると思う。あるいはそういうのを見つけるマインドを持つことが私は重要と思うので、そういうところへも、顔を出していくことも必要と感じた。

(藤原委員) ご紹介あったように、実際に集計作業が減るみたいな実感があると、ツールは使われていく。それは主体的に使い方を考えるからであり、Google フォームを使いなさいと強制されても、受け入れられない。だから何までをお願いして何までを自主的にやってもらうかがすごく大事で、仮にお願いするのであれば使い方とかまでちゃんとサポートする必要がある。何か実体験が生まれるって意味では、統一にしないことのメリットがあり、隣の学校の人と話したらすごくいいと言っていたので、使おうみたいなことが、実体験として生まれるところもあると思います。今の岡野委員が言うツールを知り共有するのも必要ですけど、現場の人もちゃんと、使い方もわかることがセットだと思いたい。

(4) 議案第4号 二宮町教科用図書採択検討委員会委員の委嘱について

- 非公開 -

10時17分 閉会